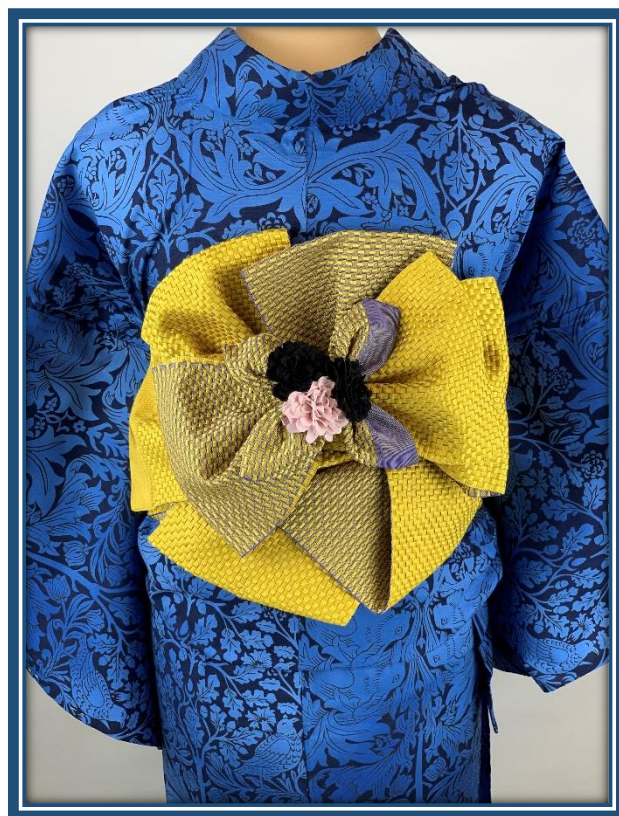


令和2年度



学校評価（自己評価）

結果報告書



百日草「はなよめ」浴衣の帯結びフォトコンテスト
三位入賞 作品

T O Y O
Barber Beauty Professional
Training College

一般社団法人 東予理容美容専門学校

令和2年度 自己評価結果

1 学校の教育目標 <校訓>

<校訓> ～技を競って 心を磨く～

- 理容・美容の知識・技術の基礎的・基本的事項を身に付け、職業実践的な技術を磨くとともに心を磨く教育活動を創造する。
- 地域に開かれた学校づくりを推進し、豊かに人と関わり、社会に貢献できる人材を育成する。

2 自己評価の項目

(1) 学校の教育目標

評 価 項 目	よくできている…4 あまりできていない…2	できている…3 できていない…1
a 学校の教育目標に沿って、教育活動が展開されているか。	(4) 3 2 1	
b 社会に貢献できる人材育成に向けてビジョンをもって取り組んでいるか。	(4) 3 2 1	
c 学生・保護者等に学校の教育目標を周知しているか。	4 (3) 2 1	
d 学校の教育目標は時代のニーズに合っているか。	(4) 3 2 1	

<現状>

令和2年度は、新型コロナウイルスの世界的な蔓延により、日本経済も減退し、これまでと違った生活様式に様変わりするなど、困難な変革の多い年であった。愛媛県でも公立学校の休校措置がとられ、自校も4月20日より5月10日まで臨時休校の措置を取り、自宅学習の措置をとった。ただ、自校は理容科、美容科の1、2年生の昼間課程の生徒を合わせても、22人と少人数であり、3密（密集・密閉・密接）を防ぐことのできる環境であったことは、教育活動を行っていく上で大変有難かった。大規模な専門学校であれば、どうしても1教室、40人以上となり、3密を回避することが難しくなってくる。自校は日常的に1教室10人程度であるので、5月以降の実習などの対面授業も実施できた。5月以降は県内での新型コロナウイルスも終息しはじめ、日常生活での検温や消毒、換気、マスク着用、3密を避けた行動をとることで、日常の教育活動が展開できるようになった。しかし、年間の中でも生徒が楽しみにしていた県外への校外研修、オープンキャンパス（市内花火大会の着付け等も）などは感染予防上、実施することができなかった。また、全国理容美容学生技術大会も中止となり、毎年、大会に入賞するという大きな目標を掲げて生徒が学修に励んでいたことが叶わずに残念であった。国がGo to travel や Go to eat の経済活性化への政策を打ち出しているが、今後も学校や日常生活での新型コロナ感染防止のための継続した行動を、生徒や教職員自身が自ら意識してとりながら、学校運営を進めていかなければならない。

今年度は、施設面での改修・改善に力を入れ、講堂の外壁の塗り替え・換気ができるように網戸の設置、屋上の防水工事、渡り廊下の塗替え、生徒の学修の机の購入、教室の黒板のホワイトボード化など、気持ちの良い学校環境づくりに予算を投入し改善を図った。

<今後の課題>

新型コロナウイルスに対する新しい生活様式が定着し、今後も感染予防対策についてはずっと継続していくことになるだろう。また、もし、感染が県内に拡大した際には、遠隔授業と対面授業のハイブリッド型の授業を実施していかねばならない。遠隔授業については、令和2年度は生徒の要望によりラインのテレビ電話機能を活用して（ズームが慣れていないため使いづらいという生徒の意見が多く）出席をとったり、製作したワインディングのウィッグの写真を個人でメールで送付して、教師が毎日評価していた。（少人数指導であるがゆえ可能であると言える）遠隔授業でパワーポイントを活用して説明する授業では、携帯の画面は小さすぎて細かな所が見えにくいこともあり、遠隔授業が来年度、長期に渡って実施された際には、新入生にはパソコンやiPadなどが必要になってくることを入学式で確認しておく必要がある。

(2) 学校運営について

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
	a 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4	3	2
b 学校運営について理事会や定期総会で理解・周知を図っているか。	4	3	2	1
c 教務・財務などの組織は適切に機能しているか。	4	3	2	1
d 教育活動に対する情報公開は適切におこなわれているか。	4	3	2	1
e 情報システム化による業務の効率化が図られているか。	4	3	2	1
f 人事・給与等に関する規定等は整備されているか。	4	3	2	1

<現状>

学校運営方針について適切な事業方針が提案されており、定期総会や理事会等で理解や周知を図りながら、適切に運営されている。今年度は4月に県内でも新型コロナウイルス感染者が発生するなど、感染予防対策が強く徹底された時期でもあり、新型コロナウイルス感染防止のため、定期総会については最少人数での役員のみ出席とし、委任状で会員のご意見を伺った。教務や財務などの運営については、教職員間での「報告・連絡・相談」を密に図り、税理士や社会保険労務士など専門家の意見も聴取しながら、円滑に進めることができている。教育活動における情報公開については、Instagramやホームページ、「まいぷれ新居浜」などに随時アップし、積極的に情報発信に努めてきた。Instagramについては、1年前にフォロワー数が160ほどであったが、今年度1年間で100ほど増加しているので、今後もこまめに情報発信しながら、学校の教育活動を広く周知できるよう積み重ねていきたい。

<今後の課題>

今年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため、新居浜市の花火大会やあかがねマラソン大会など、市の大きな行事が中止となり、昨年度のような対外的な規模の大きい社会貢献活動はできなかった。

来年度、新居浜市の行事が通常通り開催された際には、地域に開かれた学校として、豊かに人と関わり、社会に進んで貢献しようとする心を育み、社会に役に立つ喜びを感じられる人材を育てていきたい。

(3) 教育活動

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
	a 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2
b 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
c 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
d キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1
e 実践的な職業教育（産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
f 職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
g 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確化になっているか	4	③	2	1
h 教科課目の目標を達成できる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
i 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1

<現状>

教育課程の編成においては、毎月、学期ごとにカリキュラムの時間調整を図りながら、到達レベルや学習時間の確保を明確に行っている。特に、様々な資格の取得に関しては、福祉理美容師の資格取得や企業と連携したOPIベーシックネイル課程修了、日本ネイリスト3級技能検定指導、まつ毛エクステンションや着付けの指導など、専門的・職業実践的な資格や技能を身に付けることができるよう体制整備に努めている。全国規模のフォトコンテストにも各学年とも積極的に応募し入賞するなど成果を上げている。特に、今年度は、浴衣の帯結びフォトコンテストに初チャレンジし、一人一人の技術の向上が図られたとともに、全国でも3位入賞するなど素晴らしい成績を上げた。

また、今年度からスタートした修得者コースには、理容修得者が3人在籍しているが、ABEまつ毛エクステンション技能検定にも昼間課程の美容科の生徒と一緒にチャレンジし合格することができた。今年度から始まった高等教育の無償化等に伴う授業料や入学金等の減免措置についても、初めての事務処理であり、よく分からない点も多いが、その都度、経理主任と校長で問題解決しながら取り組んでいる。

今年度はこれまでの学園祭に替わるものとして、学修発表会を「レイグラッチェふじ」と連携し、「ミス花嫁コンテスト」に全校で参加した。生徒のモデル7人を残りの生徒がチームで担当し、メイクアップや着付けなどを行った。生徒の一人がミス花嫁に選ばれたり、審査員特別賞を受賞したりするなど、学校参加は好評で一人一人が活躍できる良い機会となった。

<今後の課題>

今年度より、本校の教員がABEまつ毛エクステンション認定講師として授業を実施し、これまでの福祉理美容師の取得に加えて、「ABE Eyelash extensions Assistant director」認定証も全員取得できるようになった。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、東京都で開催される教員資格認定講習会「美容技術理論・美容実習」の人数が制限されたため、今年度予定していた自校から教員の参加ができなかった。また、同様に「メイクアップ」指導者養成研修会についても安全のため、今回は参加を見送らざるをえなかった。今後は新型コロナウイルス感染症の広がりや情勢を見極めながら、教員資格認定講習会やメイクアップ指導者養成講習会に教員が参加し、教員の資質向上に努め、学校の特色を一層打ち出せるよう取り組んでいきたい。また、今後もレイグラッチェふじと連携を図りながら、学修発表会を開催していくようにしたい。

(4) 学修成果

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
	a 就職率の向上が図られているか	4	③	2
b 資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
c 退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
d 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1

<現状>

就職率の向上に関しては、実務実習店舗と連携して、実習の成績評価や状況を的確に把握し、就職活動への意欲付けを図ったり、企業等の求人案内をいつでも誰でもが閲覧できるように職員室に備え付けたり、就職先が決定するまで個別に相談に応じるなど、一人一人へのサポートに努めている。今年度は生徒が実習した店舗から卒業しても継続してきてほしいということで、内定が早々と決定する者が多かった。資格取得率の向上に関しては、本校教員が国家試験実技試験の審査員や主任等を務めており、実技でのチェック項目に関して細かく指導し、模擬試験を事前に何回も実施するなど取り組んでいる。指導教員が実技面での指導事項や重点事項を、自ら研修会に参加して理解し、生徒に具体的に指導できる体制が整っている。また、国家試験資格取得とともに、他にも福祉理美容師の資格、ABEまつ毛エクステンション検定の資格、OPIベーシックネイル課程修了証等を全員が卒業時には取得できるようになったので、トータルビューティとしての学校の特色が大きく広がってきている。

<今後の課題>

国家試験においては、令和元年度昼間課程については100%の合格率を挙げることができている。また、通信課程においても新規・既卒合わせて理容師国家試験合格率71.4%（全国平均70.8%）、美容師国家試験合格率70.0%（全国平均61.7%）となっており、全国平均を上回っている。

今後も継続してマチコミ等のアプリを通じて、一層リビッツステーションを活用し学習を深めていくよう呼び掛けていきたい。

今年度はリビッツステーションの活用率が7月は100%（全国1位）、8月は95.1%（全国3位）9月も92.7%（全国6位）の活用率であり、今年度は全国トップ10入りが続いており、通信課程生徒がリビッツステーションを活用して学修に取り組む習慣が形成されつつある。通信課程の不合格者にも筆記試験対策としてリビッツステーションの活用を促し、日々の学修に取り組ませたい。また、1月、2月の対面授業（無料）への参加を促しサポートを行っているが、今後も継続して行っていく必要があるだろう。

(5) 学生支援

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
	a 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2
b 学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1
c 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	③	2	1
d 学生の学内生活環境への支援は行われているか	4	3	②	1
e 保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
f 卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1

<現状>

今年度より高等教育の修学支援新制度が実施され、自校も認可校として申請のあった対象の生徒に、入学金及び授業料の減免措置をとっている。そのため、全額免除の場合、自校の入学金や授業料については全額免除対象の範囲となっている。また、生徒からの個別の悩み相談に関しては、その都度、学級担任や校長、教職員の誰でもが関わりながら、気軽に相談しやすい体制が整備されており、少人数指導で家庭的な温かい雰囲気が醸成されている。そのため、中学校の折には不登校傾向であった高等課程の生徒も、休むことなく毎日笑顔で楽しい学校生活が送れている。保護者の相談に関しても、その思いに寄り添って適切に相談活動が行われており、保護者との望ましい関係づくりに努めている。授業料の納入に関しては、一括払いにせず、月ごとに分割するなど、保護者の負担軽減に努めている。経済的に苦しい家庭については、個別に十分話を聞きながら丁寧な対応に努めている。また、今年度、古いベンチや靴箱を廃棄したり、講堂に網戸を設置して換気をしやすくしたりするなど、生活環境面で生徒が過ごしやすいうように改善を図った。また、玄関入口の受付の窓枠や職員室内の壁、郵便ポストや掲示板等をDIYで綺麗に塗りなおし、明るい雰囲気に変えた。

<今後の課題>

自校は少人数であり家庭的な学校であるので、一人一人に声をかけることができ、生徒の体調なども早く知ることができる。そのため、心身に不安や悩みを抱えていたり、日常生活が不規則になっている場合など、個別に生徒と面談を実施して卒業まで修学できるようフォローしていくことが大切である。また、修学支援新制度の対象生徒が継続して支援を受けるためには、適格認定されることが必須であるので、単位数や出席率、学修成績などに問題がないか日頃から注意を払っていく必要があるだろう。

(6) 教育環境

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
	a 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	②
b 防災に対する体制は整備されているか	4	3	②	1

<現状と今後の課題>

施設、設備面では、旧校舎については早55年が経過しているが、予算的に難しい面があり、耐震化されていない。今年度、教室の机や黒板を一新したが、講堂などのWi-Fi環境等、不十分な面もあり、予算を勘案しながら計画的に施設・設備を新しいものへ改善していくことが必要である。防災体制の整備については、今後、発生するであろう南海トラフ巨大地震発生に備えて、非常持ち出し袋やヘルメット等を備えたりすることも重要である。ハード面だけでなく新居浜市の防災センターを学校で見学して生徒の防災意識を高めていくことも必要である。新居浜市のハザードマップによると、自校周辺地域は南海トラフ巨大地震が発生した際には、浸水被害が出るのが予想されるので、災害時には、新居浜市民文化センター南方面へ落下物や倒壊物を避けながら避難し、建物倒壊、浸水被害などから大切な命を守る行動をとれるよう防災訓練の在り方を見直していきたい。

本年度、職員室前の掲示板に、これまでのフォトコンテスト作品に加えて、1年生が新たに制作した「浴衣の帯結び」フォトコンテスト用の作品や授業中に制作したワークシートなども掲示したことで、生徒一人一人が自分の頑張りを友達やその他、大勢の人にも認めてもらえたり、自尊感情を高めたりする良い機会となった。

(7) 学生の受入れ募集

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
	a 学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2
b 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	③	2	1
c 学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

<現状>

毎年、今治市、四国中央市、新居浜市の各高校を回って、学校の教育活動の取組を説明している。また、今年度は新居浜市の「あすなろ教室」にも行き、自校に高等課程が設置されていることを説明した。ホームページに修得者コースが設置されていること、高等教育の無償化等の認可校になっていること、ABEまつ毛エクステンション認定校などを、インスタグラムや「まいぷれ新居浜」、ホームページ、募集要項等に掲載して、広く周知していただけるよう取り組んだ。

また、今年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため、小規模の社会貢献ボランティア活動に努めた。地域の惣開公民館活動の子供たちのための夏期講座では、2年生が参加して保護者向けにまつ毛エクステンション体験、小学生対象にハンドペイント、ネイリング、ヘアアレンジなどを、修得した技術を生かして活動した。子供たちも楽しく笑顔で喜んでいたので、その話が近隣の小学校の保護者にも伝わり、PTAの家庭教育講座にぜひ協力してほしいという要請があった。そのため、「ハロウィンを楽しもう」というテーマで、全校生徒でハンドペイント、ヘアアレンジ、レジニアクセサリー製作（鬼滅の刃のシールを使ったストラップが人気）を子供たちや保護者と一緒に、自校に来ていただき取り組んだ。小学生や保護者を対象にした地域ボランティア活動に取り組んだことは、子供たちや保護者に自校の活動を知っていただく良い機会になり、地域に開かれた学校づくりにつながった。

<今後の課題>

少子化の時代を迎え、地域に根差した地域貢献ボランティア活動を展開することは、保護者等への学校の周知につながるだけでなく、10年先に小学生が高校生となった時、本校で活動したことを覚えていたり、親しみを感じたりしたことが布石となり、生徒の募集・確保につながっていくと考える。そのため、10年後の地域の学生の確保に向けて、今から小学生等を対象にした地域ボランティア活動や市のイベントでの社会貢献ボランティア活動への参加は重要と考えている。学校内だけの教育活動に終わらず、各関係機関と連携を図り、地域に開かれた理容美容専門学校としての特性を生かした社会貢献のあり方を模索していく必要がある。

(8) 財務

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
	a 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	②
b 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1
c 財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
d 財務情報公開の体制整備はできているか	4	③	2	1

<現状と今後の課題>

2019年より10月より消費税が10%となり、実習に必要な物品等の価格も値上がりしたため、今年度10月より入学した通信課程20期秋生より、昼間課程では来年度の入学生より授業料や実習費等について値上げを行った。

しかし、それでも自校の授業料、実習費等については全国的にも安く、良心的な学校と言えるだろう。財務状況は生徒数に大きく影響されるため、今後も継続して生徒数を確保するなど、長期的な財務基盤の安定に努めなければならない。予算・収支計画については、専門家の税理士にも意見を求めたり、前年度の財務状況を勘案したりして、適切な予算・収支計画を立案している。会計監査も毎年、理事会の監事により適切に行われている。財務情報の公開に関しては、職員室備付簿として、生徒だけでなく一般の方からも問い合わせがあった場合は、送付できるようにしている。

(9) 法令等の遵守

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
	a 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2
b 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
c 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	③	2	1
d 自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

<現状と今後の課題>

個人情報に関しては、すべてのパソコンにセキュリティーソフトを入れて、外部からの侵入やウイルス対策に備えるなど、情報漏洩の対策をとっている。学校評価に関しては、PDCAサイクルに基づく自己評価を実施しており、学校関係者評価委員会を開催して外部人材の意見も参考に、より望ましい適切な学校運営に努めている。また、自己評価結果や学校関係者評価委員会の結果を、ホームページ等で公開したり、保護者会で説明したりするなど、情報公開を行い法令等の遵守に努めている。今後も学校評価を確実に実施することを通して、より一層の学校運営の改善を図っていきたい。

(10) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
	a 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	④	3	2
b 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
c 地域に対するオープンキャンパス等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

<現状>

今年度は新型コロナウイルス感染症の対策のため、大きな市のイベントは全て中止となり、前年度と同じようには地域貢献ボランティア活動ができない状況であった。そのため、老人福祉施設などのお年寄りの方にハンドマッサージやネイリングなどもしてあげることができなかった。今年度は社会貢献活動については出来ないのではと思っていたところが、個別に地域の公民館や小学校のPTAから、家庭教育講座や夏期講座で協力をお願いしたいと話があった。生徒が自分たちが修得した美容・理容技術や知識を生かし、様々な人々と触れ合い、自らの心を磨きながら、社会に役立つ喜びを体験するとともに、ボランティア精神を育み、社会に貢献しようとする人間の育成を図ることは、学校の教育目標の大きな柱でもある。このような活動は、地域のたくさんの方々に本校の活動を理解していただく機会となり、地域社会貢献の意義を体験的に学ぶ機会となっている。オープンキャンパスについては、今年度、新型コロナ感染症防止のため、個別に随時受付をし、一人一人に丁寧に時間をとり対応した。

オープンキャンパスでは、生徒のみがくることがほとんどだが、今年度は個別に受付けて対応したため、高校の担任や保護者と一緒に学校見学し、話を詳しく聴く（教育課程や授業料などについても）ことがほとんどであった。逆に、保護者や高校にも自校のことをよく知っていただく機会となったように思う。

<今後の課題>

今後も自分が社会の一員として、役に立つ人材であることを自ら自覚し自信をもって、積極的に地域社会に関わっていこうとする人間を育てていかなければならない。社会と繋がり、人と繋がり、心豊かに人生を切り拓くことのできる人間を育成できるよう取り組んでいきたい。